

第6次桜井市総合計画 後期基本計画 概要版

2026年度 ▶ 2030年度





総合計画とは

総合計画は、市民と行政がそれぞれの役割を果たしながら、協働で実現をめざすまちの将来像を示したものです。

この後期基本計画は、令和12(2030)年度を目標として、まちの現状や社会情勢の変化を踏まえて策定しました。

また、後期基本計画と、まち・ひと・しごと創生総合戦略を連動させることで、取組の実効性を高めます。



将来都市像

「日本の国のはじまりの地」である桜井市、その魅力を未来へつなぐことを使命にまちづくりを進めていきたい、そんな思いをこめて将来都市像を設定しました。

はじまりの地から未来へ

歴史と自然がいきづく万葉のふるさと 桜井



額田王歌碑からの三輪山眺望



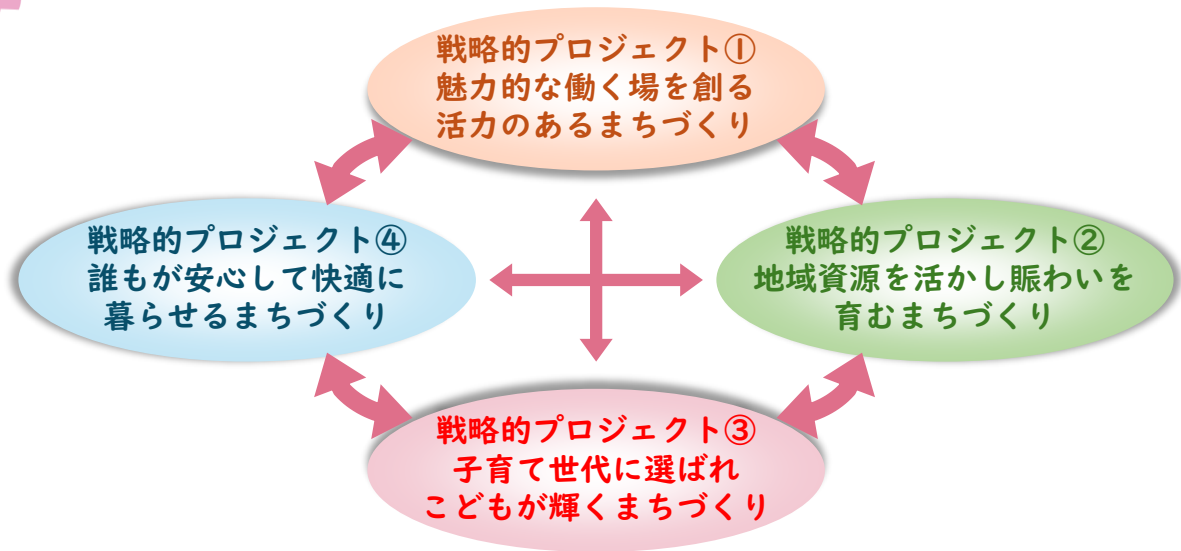
戦略的プロジェクトとは

戦略的プロジェクトは、後期基本計画で定める事業の中で、今後5年間で特に重点的に取り組む事業や、次期総合計画で具体的な取組を進めていく事業を示したもので、4つのプロジェクトで構成されます。

戦略的プロジェクトに位置付けた事業は、各課が優先的に取り組むとともに、他部署の関連する事業とも連携することで、まちの課題を効果的に解決していきます。



戦略的プロジェクトの全体像



ここで示す戦略的プロジェクトは、前期基本計画で示した戦略的プロジェクトの内容を検証するとともに、市長マニフェストや市民アンケート、中高生ワークショップ等で出された意見を踏まえてとりまとめたものです。



大美和の杜展望台からの眺望

魅力的な働く場を創る 活力のあるまちづくり

そうめん等の豊かな特産品を活かし、地域の活力を高めるため、桜井市の個性を活かした産業振興や新たな産業の創出により活力あるまちづくりをめざします。


既存の農商工業の事業承継の推進

新たに事業を始める方や、事業を承継される方が、創業しやすい環境づくりをめざします。

- ▶ 新たに桜井市内で就農をめざす方への継続的な支援
- ▶ 農業経営を大きく拡大される方の機械・施設導入を支援
- ▶ 融資にかかる保証料や利子に対する補助による創業者への支援
- ▶ 関係機関と連携し、地域事業者の事業承継を支援 等

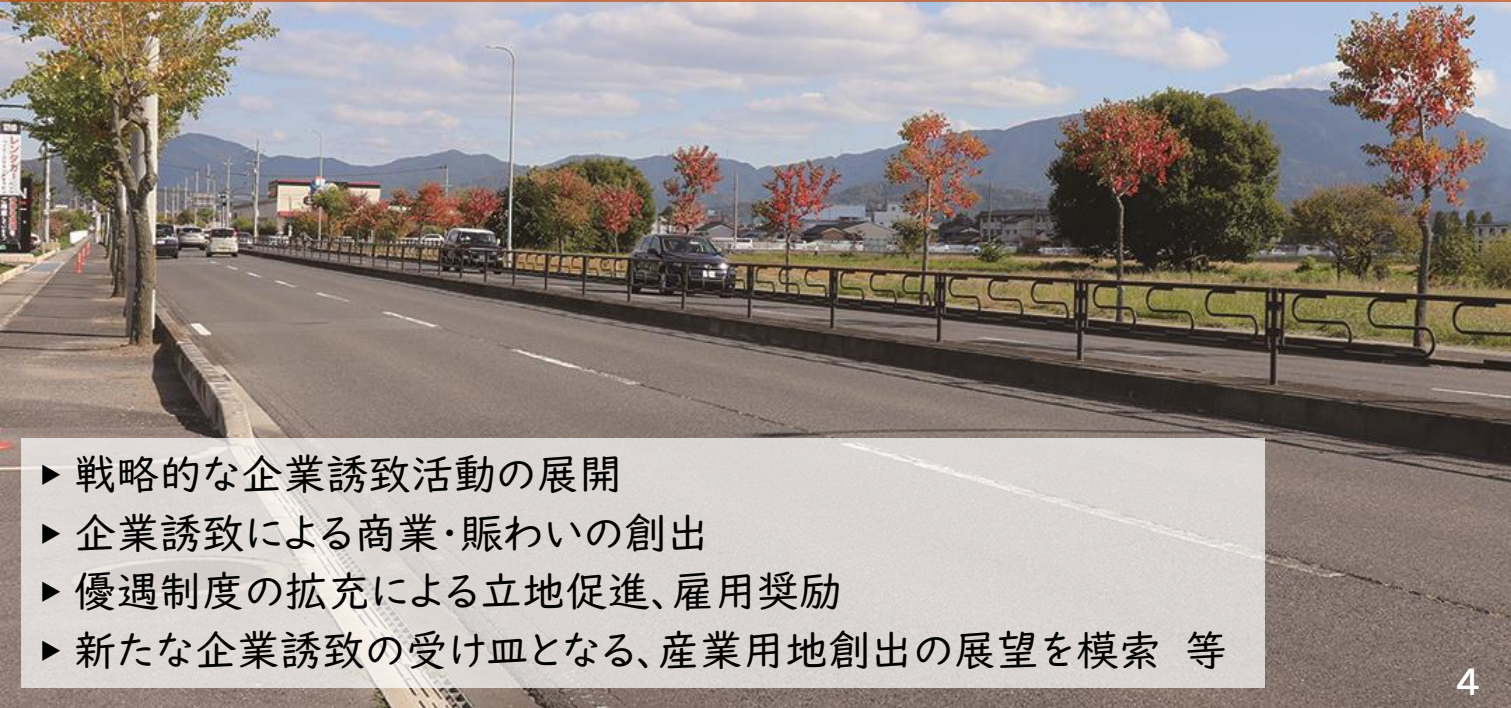
魅力ある地場産品等の創出・発掘・発信

三輪そうめんなどの地場産業のPR等、桜井市の魅力ある特産品のブランド化を推進します。

- 
- ▶ 桜井市内で製材された木材等の利用を促進
 - ▶ 木材業界、そうめん業界へ補助金を交付、PR活動や後継者の育成等を促すことで地場産業の振興を推進
 - ▶ 市の優れた地域資源を「大和さくらいブランド」として認定 等

中和幹線を活かした企業誘致の推進

充実した支援制度で企業の立地をバックアップ！
企業の立地や埋蔵文化財発掘調査、桜井市民の雇用に対する奨励金制度で経済と雇用の拡大をめざします。

- 
- ▶ 戦略的な企業誘致活動の展開
 - ▶ 企業誘致による商業・賑わいの創出
 - ▶ 優遇制度の拡充による立地促進、雇用奨励
 - ▶ 新たな企業誘致の受け皿となる、産業用地創出の展望を模索 等

地域資源を活かし 賑わいを育むまちづくり

歴史的環境を活かした賑わいの強化、広域的な観光連携と受入れ環境の強化、観光コンテンツと情報発信の強化等により、地域資源を活かした賑わいを育むまちをめざします。

歴史的環境を活かした賑わいの強化

桜井市特有の歴史的資源を活かしたイベントの実施や市民活動の醸成を通じ魅力あるまちづくりに取り組みます。

- ▶ 大神神社の参道整備による良好な景観づくり、賑わいの創出
- ▶ 長谷寺参道周辺の良好な景観づくり、歴史的資源を活かした賑わいの創出
- ▶ 地域文化財を保存、活用する市民活動への協力 等

広域的な観光連携と受入れ環境の強化

インバウンドも含めた観光客のニーズに対応した、わかりやすい観光と受け入れ環境の強化をめざします。



- ▶ 世界遺産登録に向けての登録推進とその後の保存活用の取組
- ▶ 観光客のニーズに合わせた観光案内、周遊の利便性の向上 等

観光コンテンツと情報発信の強化

アプリやARなどのIT技術等により、体験型のコンテンツなど、新しい観光の形の提供をめざします。



- ▶ 豊かな自然と歴史を堪能できるツアー、観光アプリなどの魅力的な観光コンテンツの紹介
- ▶ ARアプリ、纏向犬を活用した情報発信など観光情報発信のDX化の紹介 等

子育て世代に選ばれ こどもが輝くまちづくり

子育て支援環境の充実、教育環境の充実、こどもの遊び場と活躍の場づくり等により、子育て世代に選ばれ、こどもが輝くまちをめざします。

子育て支援環境の充実

幼児教育の充実とともに、困ったときに気軽に相談できる安心のサポート体制を整え、仕事と家庭、子育て、地域活動が無理なく両立できるまちをめざします。

- ▶ 結婚・子育てを支える社会環境の充実
- ▶ 保育・教育環境の充実
- ▶ 安心してこどもを産み育てるための環境とすべてのこどもが健やかに成長できる環境の充実 等

教育環境の充実

ICTを活用した深い学びの実現と自ら学び続ける力を育むとともに、学校・家庭・地域が連携し、こどもたちを地域で守り育てていく環境を整えます。

- ▶ デジタルAIドリルの利用やオンライン学習の実施による個別最適な学びの実現
- ▶ コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、学校・家庭・地域が力を合わせた「地域と共にある学校」づくり 等

こどもの遊び場と活躍の場づくり

豊かな緑や四季の変化を感じながら、のびのびと遊び、学べる環境の整備をめざします。

若者の自主的な活躍ができるような施設を整備し、大人になっても帰ってきたいまちづくりをめざします。

- ▶ 体育施設を安心安全に利用できるよう整備を推進
- ▶ こども・若者のスポーツ・文化活動を応援する奨励金を交付 等

誰もが安心して 快適に暮らせるまちづくり

安心して住み続けられる環境づくり、中心拠点の活力の維持・向上、災害に強い地域づくり等により、誰もが安心して快適に暮らせるまちをめざします。

安心して住み続けられる環境づくり

健康に暮らせる環境を整え、安心して医療・福祉を受けながら、自分らしく生きられるまちづくりをめざします。

- ▶ 各種福祉サービスの横断的・重層的な連携体制の強化
- ▶ 地域医療提供体制の充実
- ▶ 健康づくりの増進
- ▶ 公共交通サービスの利用促進・確保 等

中心拠点の活力の維持・向上

中心拠点、地域拠点のまちづくりを推進し、活気あふれる住みやすいまちをめざします。



- ▶ 桜井駅を中心とした都市機能の維持・充実
- ▶ 近鉄大福駅周辺のまちづくりの推進 等

災害に強い地域づくり

災害への対策を強化し、避難所の環境整備や地域の防災訓練を通じて災害に強いまちづくりをめざします。



- ▶ 避難施設の空調設備などの整備
- ▶ 災害に強い通信ネットワークの構築やインフラ整備
- ▶ 防災訓練や自主防災組織などによる防災力の向上 等



中高生の未来への想い

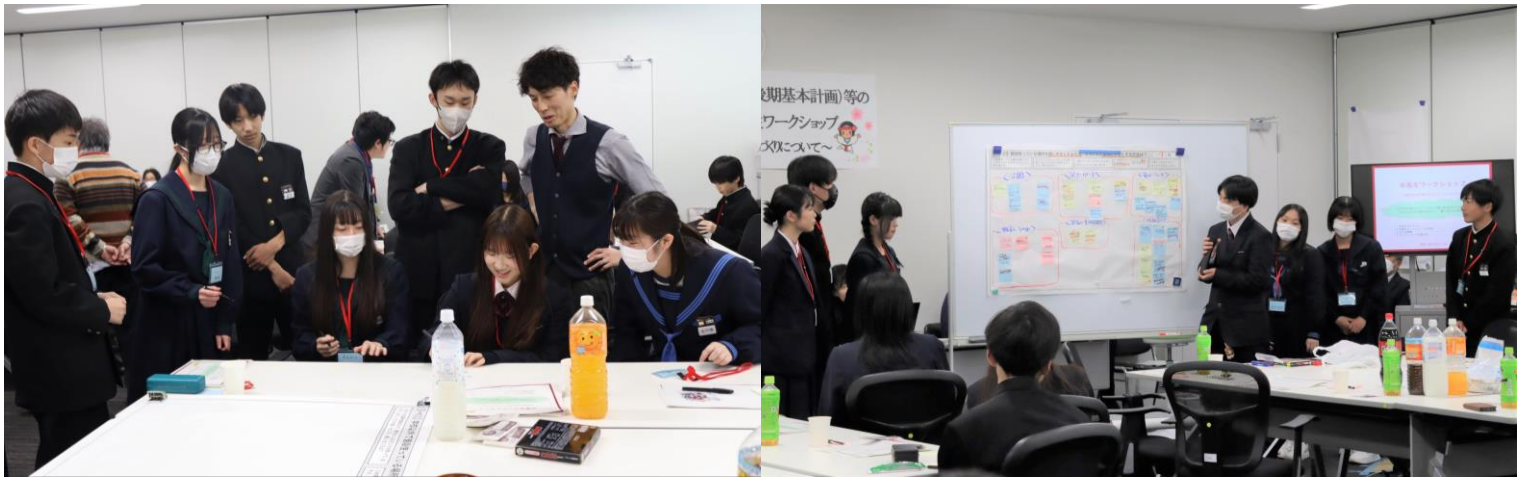
本総合計画の策定に向けて、桜井市の次世代を担う若者にとって、魅力あるまちづくりを進めるため、市内の中高生を対象にワークショップを実施し、桜井市の課題や課題解決のために自分たちでできることについて語っていただきました。

ワークショップで頂いた意見を踏まえて、中高生をはじめとする若者が生活しやすいと感じ、今後も住み続けたいと思ってもらえるような、魅力あるまちをめざして取り組んでいきます。

中高生ワークショップ

次世代を担う若者の立場で桜井市の将来のために
自分たちができることを考えてもらいました！

会 場	桜井市役所
日時・時間	令和7年3月27日(木) 10:30~15:00
参加対象	市内の中学・高校の1・2年生
対象学校	中学校:桜井中学校、桜井東中学校、大三輪中学校、桜井西中学校 高 校:桜井高等学校、商業高等学校
参加者数	27名(中学生:18名、高校生:9名)



学校以外で普段使っている場所、よく参加しているイベント

😊 良いところ

- ✓ 家の近くに公園がある
- ✓ 駅周辺に自習室や交流施設がある
- ✓ 図書館では、静かで落ち着いて勉強ができる
- ✓ 魅力的な神社仏閣がある
- ✓ 市内の様々な場所で魅力的なイベントや祭り(おんぱら祭、万葉まつりなど)が行われている

☹️ 悪いところ

- ✓ 公園では、遊具が古く、また、中高生が遊ぶことができる遊具などの設備が不足している
- ✓ 駅周辺では、学生が滞留できるスペースや賑わいが少ない
- ✓ 図書館が自宅から遠く、利用しにくい
- ✓ お祭りやイベントの屋台が少なく、スペースが不足している

普段使っている場所やイベントをよりよくする方法

よりよいまちづくりに向けた方法

自分たちでできること

公園の遊具など
設備を新しくする

外灯の設置
や歩道を
きれいにする

ゴミ拾いや
草刈りをする

SNSを使った
情報発信をする

駅前に飲食店
を増やす

地域の特産物を
利用するなど魅力ある
イベントを増やす

まちなかに
桜の木や花を
植える

イベントの
企画・運営に
関わる



将来人口

令和12(2030)年の将来人口は、若者・子育て世代の定住と流入促進、出生率の向上につながる施策を積極的に展開していくことにより、人口減少や少子化の抑制をめざします。



まちづくりの体系

分野別の展開として、桜井市は6本の柱とそれを支える持続可能な行財政運営について、以下のような体系で進めていきます。

分野別展開

(1)桜井の個性を活かした
活力あるまち
【観光・産業】



(2)健やかに
暮らせるまち
【健康・福祉】



(3)様々な人々が共存する
まち【教育・
生涯学習・交流】



(4)環境共生
のまち
【環境】



(5)心豊かに暮らせるまち
【都市】



(6)安全・安心
に暮らせるまち
【安全・安心】



(1)行政が取り
組むべき事項の
選択と集中

(2)官民連携の
推進

(3)広域連携の
促進

持続可能な行財政運営の基本方針



SDGsの取組

桜井市では、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成を目指し、17のゴールとの関係性を意識しながら、各種施策に取り組みます。

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された世界共通の目標です。2030年までに誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指しています。



実現に向けて

市民のみなさんとともに協働のまちづくりを一層推進し、“桜井市のファン”を増やしていくまちづくりに取り組んでいきます。

また、その実現に向けて、継続的に情報を発信していきます。

戦略的プロジェクトに関する情報
(戦略的プロジェクトの進捗状況を紹介しています)



第6次 桜井市
総合計画 ・
後期基本計画



第3期 桜井市まち・
ひと・しごと創生
総合戦略



編集・発行

桜井市 市長公室 行政経営課

令和8年3月

〒633-8585 奈良県桜井市大字粟殿432-1

TEL:0744-42-9111(代) FAX:0744-42-2656

